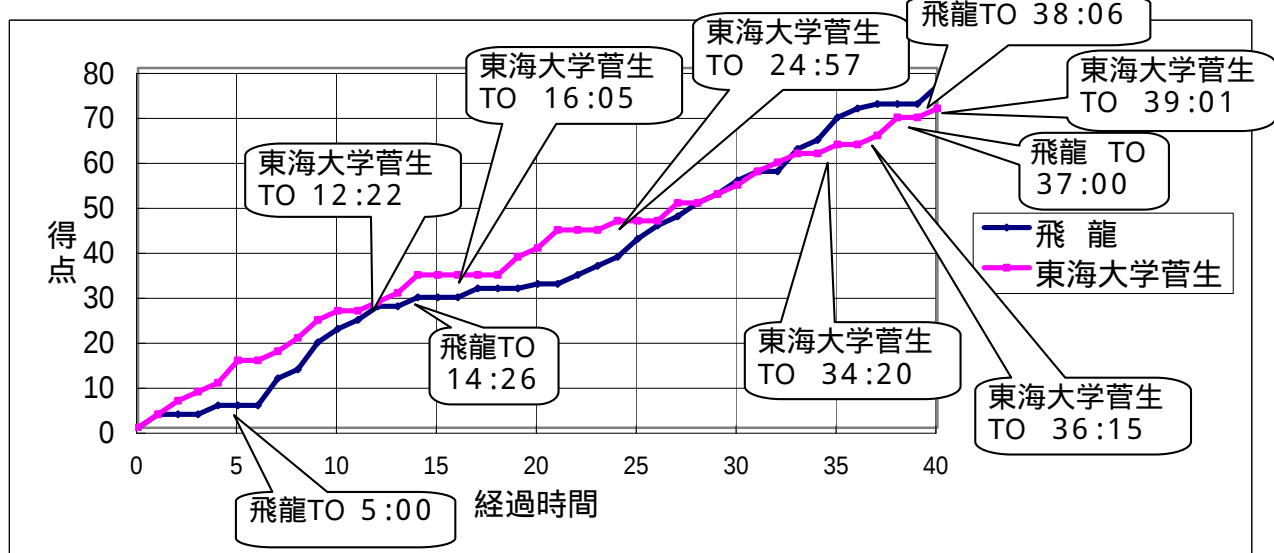


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	B3	13:20	男子 2回戦
期日	2007年（平成19年）7月30日（月）	飛 龍 76	22 - 26 10 - 14 23 - 14 21 - 17 -	71 東海大学菅生
会場	唐津市文化体育館	静岡 ○		● 東京

主審大 谷 英 紀 副審福 島 孝 生



飛 龍

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	杉山 尚史	18	4	2	2	2
○ 5	佐藤 建人	10	1	1	5	2
6	渡辺 勝	0	0	0	0	0
○ 7	坂本 健	9	0	4	1	5
○ 8	井原 良道	4	0	2	0	1
9	杉本 瞬	28	4	8	0	3
○ 10	楊 国良	0	0	0	0	4
11	林 辰	0	0	0	0	0
12	三井 隆史	0	0	0	0	0
13	勝呂 充孝	0	0	0	0	0
14	小松 佑地	7	0	3	1	1
15	長田 幸志朗	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	杉村 敏英					
	合計	76	9	20	9	

東海大学菅生

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	大野 恭介	10	1	2	3	4
5	矢木 真理	0	0	0	0	0
○ 6	三村 辰之輔	4	0	1	2	3
○ 7	佐々木 隼	27	0	11	5	1
○ 8	入戸野 良	5	0	1	3	5
9	浜中 謙	5	1	1	0	1
10	大野 竜一	0	0	0	0	0
○ 11	高山 師門	20	0	9	2	3
12	辻 翔太郎	0	0	0	0	1
13	鈴木 ディオン	0	0	0	0	0
14	平間 悠也	0	0	0	0	0
15	白垣 一樹	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	小山 正男					
	合計	71	2	25	15	

○はスターター（はキャプテン）3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

機動力で東海大会を制した飛龍対I H初出場ながら、1回戦を大差で勝ち抜いた東海大菅生の試合は、第3 Pで飛龍が逆転し、76対71で接戦をものにした。第1 P、お互いハーフコートマンツーマンでスタート。東海大菅生は# 4大野の3 Pや# 11高山、# 7佐々木のゴール下シュート。飛龍は# 4杉山の連続3 P、# 5佐藤のステップインシュート等が決まり、26対22と東海大菅生リードで終了。第2 P、飛龍は、ディフェンスを2 - 2 - 1ゾーンプレスから積極的にパスカットを狙うが34対29と差は縮まらない。残り2分飛龍はチームファウル4となり東海大菅生は確実にフリースローを決め、40対32と東海大菅生のリードで前半終了。第3 P、飛龍は疲れの見た東海大菅生を追い上げ、# 7坂本、# 5佐藤のシュート等で追い上げ、残り3分で55対54と逆転に成功。第4 P、飛龍の# 9杉本のシュートが立て続けに決まり、残り4分71対63と差を広げるが、東海大菅生も# 7佐々木のゴール下シュート、# 9浜中の3 Pが決まり、73対71と飛龍リードで残り1分、東海大菅生はファールゲームに持ち込むが、飛龍はフリースローを確実に決め勝利をものにした。

記載者 畑瀬 博幸 (所属) 佐賀県バスケットボール協会